

1号機 窒素封入設備の信頼性向上 通気試験について

2016年9月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

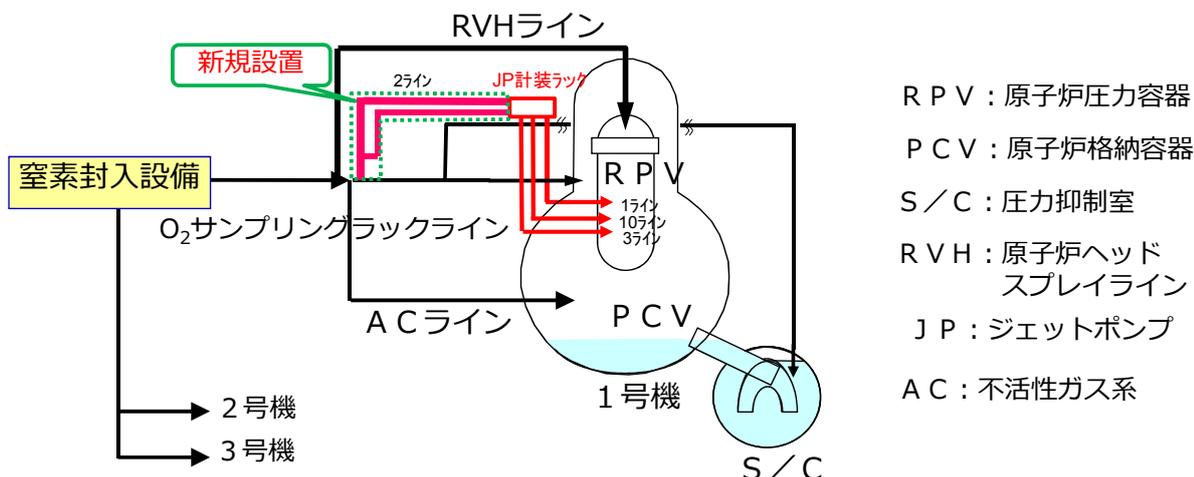
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 工事の概要

TEPCO

○概要

- ・窒素封入設備は、水素爆発を予防するために、R P V及びP C Vに窒素を封入し、不活性雰囲気を維持する設備
- ・R P Vに封入しているR V Hラインに加えて、J Pセンシングライン等を介して窒素封入するラインを新規設置し信頼性を向上
- ・J P計装ラックまでは2ライン、J P計装ラックからR P Vまでは1 4ライン



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

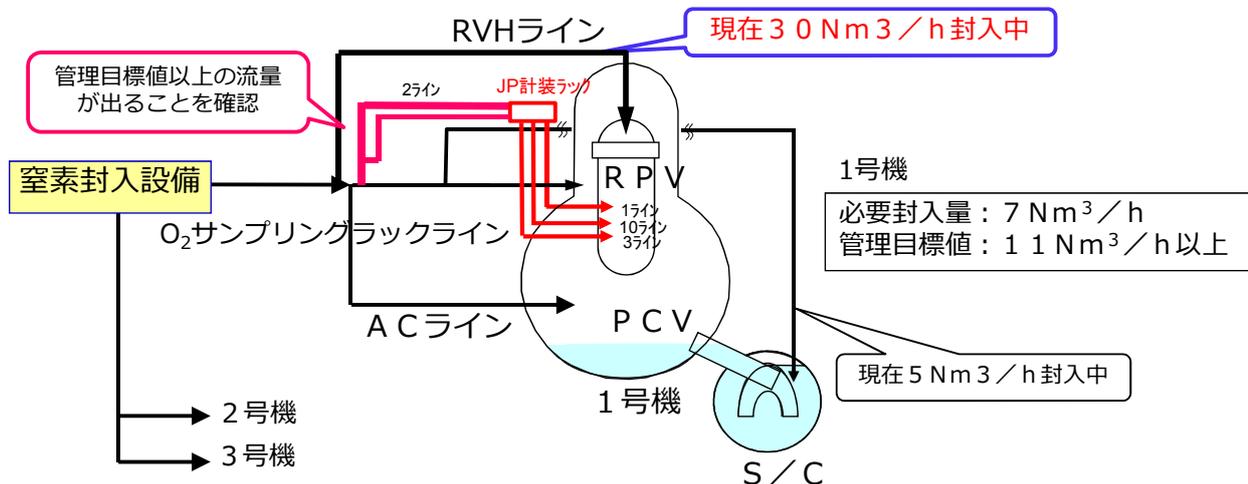
1. 目的

今回設置したラインを通してR P Vへ「実施計画に定められた窒素封入量の管理目標値（11Nm³/h）以上で窒素が通気されること」を確認

2. 試験方法

J P計装ラックまでの2ライン各々を通じて、R P Vに通じる14ラインに対して1ラインずつ通気（2ライン×14ライン=28通り）

通気試験は、検査中R V Hラインからの窒素封入量を維持した状態で実施

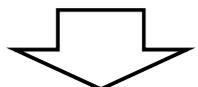


3. 今後の窒素封入ラインの選定

R V HラインとJ Pセンシングライン等
（14ライン）から通気が可能

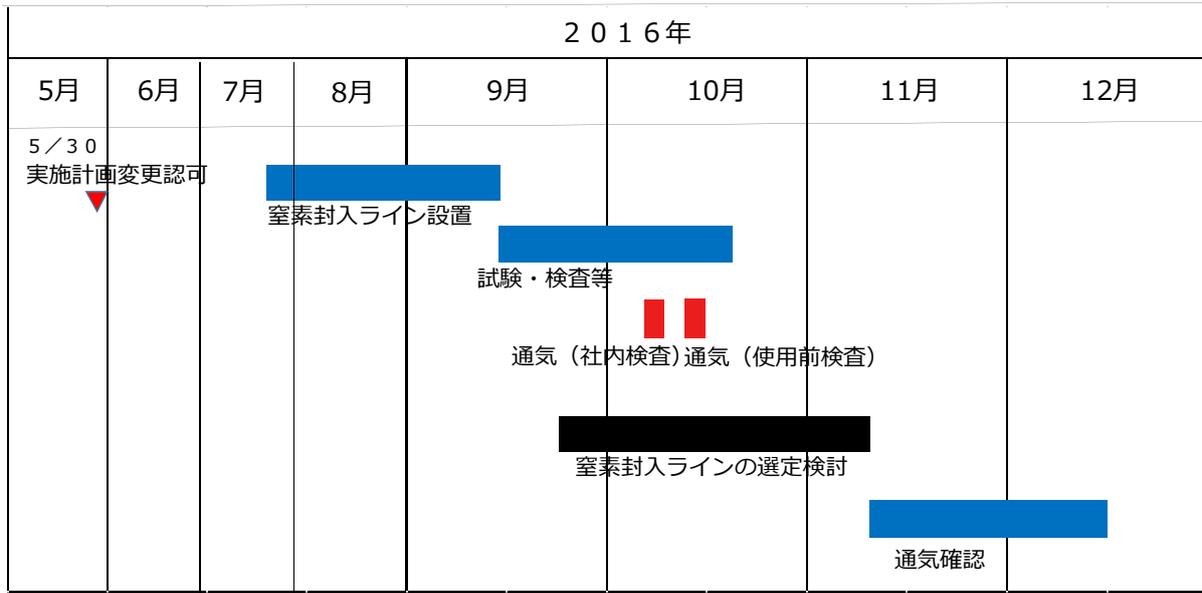


常用ラインの選定が必要



今回の使用前検査結果を踏まえて、
試験手順等を作成し通気確認を実施予定

● 全体スケジュール



(参考) 1号機JP計装ラックからの窒素封入ライン

《 注入点イメージ 》

